

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|--|--|--|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 6 | 身体拘束の宣言に登録されているが各ユニット入口の施錠が常態化している。 | 身体拘束に対する、職員の意識の向上や、入居者の方が抑圧感を感じないような環境づくりを行っていく。 | 身体拘束に関する勉強会への職員の参加並びに、職員付添いによる外出や散歩の機会を増やし、入居者が閉塞感、抑圧感を感じないようにする。 | 6ヶ月 |
| 2 | 25 | 介護計画、サービス内容と入居者本人の過去の生活歴や、楽しみ、習慣、趣味が十分にサービス計画、介護計画に反映されていない。 | 入居してからの生活や日々の様子からの情報を基にサービス計画を立ち上げがちであったが、今後は入居前の生活歴や趣味等にも十分に配慮したサービス計画作成を行っていく。 | 現在ある入居時作成のフェイスシートの活用や、本人・家族への生活歴、趣味の更なる聞き取り等を行い、アセスメントシート等必要な書類の様式の見直し、改定を行っていく。 | 12ヶ月 |
| 3 | | | | | ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。